

サビエル生誕五百年



藤屋侃士
(下松市幸ヶ丘)

304

大自然という大聖堂の中で 庭もまた、小さな聖堂

「病は氣から」とい
うことわざがあるが、
確かに気持ちの持ち方
で一変することがあ
る。

今回のアラスカクル
ーズの途中で、早々と
シリーズのタイトルを
「大自然」という大聖堂
の中で」と決めた。

だから「大自然とい
う大聖堂の中で」と決
めたのであるが、クル
ーズから帰り、アラス
カに魅せられた星野道
夫の写真や文章に接
し、私がこのタイトル
でアラスカについて書
くのは星野道夫に対し

ても余りに失礼だと思
い始めた。

セスナ機で誰一人い
ないアラスカの奥地に
運んでもらい、そこで
一ヶ月以上、たつた一
人で大自然に身を委
ね、自然や動物のいの
ちの営みをカメラに収
める。彼なら大自然を
大聖堂と表現するのに
ふさわしいが、自分の
タイトルには不相応
だ。

最初の七年は現地に住
み、貧しい母子の保健
プロジェクトの一員と
して働いた。結婚もせ
ず、かといって貧しい
人のためにという気負
いもなく、ごく自然体
で関わっている。

電話を切った時、も
やもやした気持ちは一
掃され、庭に出た。庭
の花の一つ一つが新鮮
で輝いて感じられる。朝
、目が覚めるとす
ぐに庭に出てレンガを
敷いた部分と玄関回り
とがな

え、聖堂内に入るとき
らに圧倒される。その
すごさを否定する気持
ちはないが、人の手に
よらないアラスカの大
自然はそれに優るとも
劣らない大聖堂のよう
に思える。

だから「大自然とい
う大聖堂の中で」と決
めたのであるが、クル
ーズから帰り、アラス
カに魅せられた星野道
夫の「ア

ラスカと
は自分の気負いからだ
と思った。理屈はない。
娘からの電話はう
れしく、何か私を前向
きにさせてくれる。

電話で話しながら、
書き出せないので
アラスカについて書
くのは星野道夫に対し



氷河の崩落に圧倒される

を掃く。そして花に声
をかけて庭を何周かし
たあと、中央の小さな
池の金魚に手をたたき
ながらえさをやる。こ
れが毎朝の日課であ
る。

アラスカから帰り、
あの大自然が大聖堂な
ら、この小さな庭は自
分にとって小さな聖堂
だと思え始めた。神は
日々の生活の中におら
れ、この小聖堂での人
との出会いが楽しみな
のである。

中学の教科書に載つ
た星野道
夫の「ア
ラスカと
は自分の気負いからだ
と思った。理屈はない。
娘からの電話はう
れしく、何か私を前向
きにさせてくれる。
電話を切った時、も
やもやした気持ちは一
掃され、庭に出た。庭
の花の一つ一つが新鮮
で輝いて感じられる。朝
、目が覚めるとす
ぐに庭に出てレンガを
敷いた部分と玄関回り
とがな



氷河が崩落するのを見
た。手つかずの大自然
が残るアラスカ。人が
造ったシャトルトルやノ
ートルダムの大聖堂は
天に向かって高くそび

百倍くらいの高さの
「大自然」という大聖堂
の中では」と決めて了
した。手つかずの大自然
が残るアラスカ。人が
造ったシャトルトルやノ
ートルダムの大聖堂は
天に向かって高くそび

百倍くらいの高さの
氷河が崩落するのを見
た。手つかずの大自然
の中では」と決めて了
した。手つかずの自然
が残るアラスカ。人が
造ったシャトルトルやノ
ートルダムの大聖堂は
天に向かって高くそび

百倍くらいの高さの
氷河が崩落するのを見
た。手つかずの自然
の中では」と決めて了
した。手つかずの自然
が残るアラスカ。人が
造ったシャトルトルやノ
ートルダムの大聖堂は
天に向かって高くそび

百倍くらいの高さの
氷河が崩落するのを見
た。手つかずの自然
の中では」と決めて了
した。手つかずの自然
が残るアラスカ。人が
造ったシャトルトルやノ
ートルダムの大聖堂は
天に向かって高くそび

百倍くらいの高さの
氷河が崩落するのを見
た。手つかずの自然
の中では」と決めて了
した。手つかずの自然
が残るアラスカ。人が
造ったシャトルトルやノ
ートルダムの大聖堂は
天に向かって高くそび

百倍くらいの高さの
氷河が崩落するのを見
た。手つかずの自然
の中では」と決めて了
した。手つかずの自然
が残るアラスカ。人が
造ったシャトルトルやノ
ートルダムの大聖堂は
天に向かって高くそび

百倍くらいの高さの
氷河が崩落するのを見
た。手つかずの自然
の中では」と決めて了
した。手つかずの自然
が残るアラスカ。人が
造ったシャトルトルやノ
ートルダムの大聖堂は
天に向かって高くそび